

報告(2)  
令和3年3月14日  
第4回理事会承認

# 令和3年度 事業計画及び収支予算

一般社団法人 岩手県障がい者スポーツ協会

## 1 運営方針

「Sports For All」の考えに基づき、障がいのある方々が一人でも多く、スポーツに参加できるよう、以下、5つの観点で活動を展開していく。

### (1) 競技スポーツについての取り組み

全国障害者スポーツ大会やジャパンパラリンピック等のある程度の競技レベルが必要となる大会での活躍を目指す選手の競技力向上をサポートする取り組み。

上位大会出場の目標設定は、モチベーションの向上や練習メニューに変化を与え、競技力向上につながる。加えて、令和2年度からスタートしたデュアルアスリート事業（多種目にチャレンジ）を活用した競技力向上を図りたい。複数種目へのチャレンジは、自身の身体的な特徴（長所・短所等）の理解につながり、より効果的な競技力向上につながることもある。また、スポーツの楽しさを新たに再確認・発見するきっかけにもなる。スポーツ本来の楽しむことを大切にしたい取り組みとしたい。

### (2) 生涯スポーツについての取り組み

重度及び高齢の障がい者など、障がいの程度、年齢、性別、地域性を問わず、誰もがいつでもどこでもスポーツに参加できるよう福祉関連団体だけでなく、学校、一般スポーツ団体、企業等、様々な団体と連携を図りながら生涯スポーツを推進する取り組み。

県委託事業や補助事業を活用して、スポーツ教室及び体験会を各地域で開催する。引き続き、様々な立場でスポーツに関わる方々とネットワーク構築を図りながら実施し、日常的・自発的なスポーツ活動につなげていきたい。

### (3) リハビリテーションスポーツの取り組み（追加）

第2期スポーツ基本計画において、スポーツ実施率の向上への取り組みが示されたが、現状は目標値にほど遠い。また、スポーツへの無関心層の増加は、大きな課題となっている。そこで、スポーツ参加の障壁となる要因を分析し、スポーツ導入を支援するプログラムを障がい者団体や就労・生活支援及び医療機関等との連携を図りながら推進する取り組みが必要である。

また、昨年度取り組んだオンラインを活用した事業により、活動の現場に足を運ぶことが難しく、あるいは重度障がいにより、移動及びスポーツ参加が困難な方に対して、遠隔操作によるスポーツ活動の導入・実践などを行い、より多くの方にスポーツ参加の可能性を広げる取り組みを行う。

### (4) パラリンピックのムーブメントを活用した機運醸成のための取り組み

パラリンピック開催により、障がい者スポーツへの関心度の高まりがピークを迎えるとともに、終了後のトーンダウンが想定される。そこで、機運醸成一過性なものから継続的なものとなるよう、パラリンピック教育に取り組む教育機関や企業等に対して積極的なアプローチを行い、スポーツを通じた持続性のある共生社会づくり推進につなげたいと考える。

### (5) インクルーシブスポーツを活用した社会課題へのアプローチ及び共生社会づくりの推進

これまでの取り組みを通して、障がいのある人へのスポーツの参加環境整備が、地域におけるコミュニティ形成にも有用であることがわかってきた。特に卓球バレーやボッチャといったインクルーシブスポーツは、障がいのある人もない人も共にスポーツで競い合いながら楽しむことができる。そこで、これらの活用し、地域におけるインクルーシブな活動拠点作りのためのネットワーク作りを通して、障がいのある方がいつでも参加できるような地域コミュニティの形成に寄与したいと考える。

## 2 岩手県委託事業

公募前の事業もあることから昨年度ベースとしている。

### (1) 障がい者スポーツ振興事業

事業名	内容
①スポーツ教室実施事業	1) スポーツ教室 (21 教室) 2) フライングディスク大会開催 期日：7月10日(土) 会場：ふれあいランド岩手
②障がい者スポーツ指導員養成事業	1) 初級障がい者スポーツ指導員 (県央地区：3日間) 期日：7月17(土)、18日(日)、22日(木祝) 会場：ふれあいランド岩手 2) 初級障がい者スポーツ指導員 (沿岸地区：3日間) 3) 中級障がい者スポーツ指導員 (8日間) 4) フォローアップ研修会 (1回) ※2)～4)については今後の日程調整による
③岩手県障がい者スポーツ大会開催事業	1) 期日：令和3年6月5日(土) 2) 会場・実施種目(個人競技)：以下のとおり *岩手県営運動公園：陸上、フライングディスク *ふれあいランド岩手：水泳、卓球、アーチェリー *盛岡スターレーン：ボウリング 3) ボッチャ競技(別日程開催) 期日：5月16日(日) 会場：ふれあいランド岩手・体育館
④障がい者スポーツ選手育成強化事業	1) 各競技強化練習(2回以上) 2) 団体競技遠征(1回以上) 3) 北海道・東北ブロック予選会参加支援 4) 北海道・東北ブロック予選会(ソフトボール) 期日：6月20日(日) 会場：石鳥谷ふれあい運動公園 5) 指導者間連携体制構築(連絡会議1回)
⑤障がい者スポーツ振興推進員設置事業	障がい者スポーツ振興推進員(3名配置)

### (2) 全国障害者スポーツ大会派遣選手強化練習及び大会派遣事業

事業名	内容等
派遣選手選考会	期日：6月15日(火) 会場：ふれあいランド岩手
第1回強化練習会	期日：7月24日(土) 会場：ふれあいランド岩手
第2回強化練習会(合宿)	期日：9月18日(土)～19日(日) 会場：ふれあいランド岩手 他 宿舎：サンセール盛岡
全国障害者スポーツ大会派遣事業	期日：10月21日(木)～26日(火) 会場：三重県

### (3) 卓球バレー交流大会開催事業 (2年目)

大会名	内容等
岩手県卓球バレー交流大会 2021	期日：10月18日(日) 会場：ふれあいランド岩手
第2回大船渡さんまカップ	期日：未定/会場：大船渡市(沿岸地区)
未定	期日：未定/会場：二戸市または久慈市(県北地区)

### (4) デュアル・アスリートプロジェクト事業 (2年目)

事業名	実施回数	備考
車いすカーリング練習会	6	下肢に障がいのある肢体不自由者対象
車いすカーリング交流試合	2	下肢に障がいのある肢体不自由者対象
スキー競技練習会	1	視覚障がい、聴覚障がい 肢体不自由、知的障がい対象

### (5) パラアスリートコーディネーター配置事業 (2年目)

#### ①目的

パラアスリートが身近な地域において継続的に練習に取り組める環境を整備するため、障がい特性や競技技術指導の専門性を有するコーディネーターを派遣し、パラアスリートの所属先やリハビリ等医療機関、近隣体育施設等との連絡調整を図るもの。

#### ②内容

対象となるコーディネーターを選出する。実施回数を26回とし、旅費や報償費を支給する。

### 3 パラリンピック選手等育成・強化事業費補助金交付事業 (岩手県補助金)

#### (1) いわて障がい者スポーツ強化指定選手について

##### ①いわて障がい者スポーツ強化指定選手推薦要領 (県作成/抜粋)

##### 1) 対象競技

パラリンピック実施競技及び障がい者国際大会実施競技 (デフリンピック競技等を含む)

##### 2) 推薦機関

ア 公益財団法人岩手県体育協会に加盟する競技団体

イ 一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会

ウ 岩手県

##### 3) 強化指定選手の条件 (概要)

ア 岩手県にゆかりのある選手 (本県在住または県内小中高等学校、特別支援学校等を卒業した者)

イ 国際大会正式種目に取り組む者で中央競技団体の強化指定を受け、国際大会に出場実績のある者 (直近2年間)、若しくは国際大会または全国大会出場実績 (見込みを含む) のある者 (直近2年間)。ただし、他都道府県・指定都市または同区内の障がい者スポーツ協会から強化指定を受けるもの補助金等を交付される者は該当しない。

#### 4) 強化指定選手の選考について

県が開催する「いわて障がい者スポーツ強化指定選手選考委員会」において選考し、指定する。

#### (2) 強化指定までの手続き等について

東京パラリンピック開催やコロナ禍に伴い、夏季主要競技大会の開催時期が早まっており、対象選手の動向等を事前確認の上、強化指定の時期や決定方法について調整を要する。

### 4 令和3年度障害者スポーツ振興事業「地域における障がい者スポーツの振興事業」

※公募事業：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（申請予定）

#### (1) スポーツを通じた各種団体連携による共生社会づくり推進事業（200万/30事業）

事業名	内容等
①障がい者スポーツ教室 ※合計10回	1) 卓球バレーまたはボッチャ教室（5回） 2) 野外レクリエーション教室（5回）
②インクルーシブスポーツ体験交流支援事業 ※5回	各地域で行われるインクルーシブスポーツの体験会を支援する（5回）
③各市町村連携及び地域人材活用事業 ※10回	1) 卓球バレー指導者養成事業（2回） 2) ボッチャ競技サポーター養成事業（2回） 3) スポーツ導入支援事業（2回） 4) 他地域間スポーツ交流事業（2回） 5) 卓球バレー及びボッチャ交流大会開催（2回）
④パラリンピック教育支援事業 ※4回	小中学校等への障がい者スポーツ訪問教室（4回）
⑤共生社会づくりシンポジウム開催事業 ※1回	パラリンピックを契機とした共生社会推進の取り組みを継承するためのシンポジウムを開催（1回）

#### (2) PTのための中級障がい者スポーツ指導員養成講習会（60万円）

岩手県理学療法士会からの強い要望があり、申請予定。昨年度は直前に医療機関において大規模クラスターが発生し、県内受講者はいなかった。初級指導員資格の有無に関わらず受講可能で、しかも短時間のカリキュラムで中級資格を取得できるメリットがある。理学療法士が活動現場に参加しやすい環境に配慮しながら、安全なスポーツ導入事業や競技力向上に関する事業等におけるサポート体制の充実化を図るため、取得後の活動を支援する。

### 5 チャレンジド・アスリート奨励金（第六期分の終了日延期：残額150万円）

※岩手、宮城、福島の障がい者スポーツ団体及び個人が対象（最大で個人50万円、団体200万円）

#### (1) 実施期間：令和3年12月31日まで延期となった

#### (2) 事業内容

委託事業により、支出対象とならない選手育成強化事業及び障がい者スポーツ指導員養成事業等を含め、下記の事業を実施する。

- ①全国障害者スポーツ大会選手育成強化事業（練習会や遠征費補助）
- ②競技性の高い中央開催の競技大会への旅費支援
- ③障がい者スポーツに関する研修会
- ④卓球バレー、ボッチャを活用した地域における環境整備及び横の連携を推進する事業

### (3) 予定事業一覧

事業名	実施時期等	備考
選手育成強化事業	通年	選手の交通費等
車いすスキルアップ研修会	未定	スタッフ参加経費
第3回あまちゃんカップ	10/ 31 (日)・久慈市	スタッフ参加経費
インクルーシブスポーツ体験教室	通年	スタッフ参加経費
障がい者スキー交流会	3/ 6 (土) ~7 (日)	講師派遣経費
第2回卓球バレーたかたサントリーカップ	未定	スタッフの参加経費
被災地における卓球バレー交流大会	7/12 (日)・宮古市	スタッフの参加経費
ポッチャ交流大会開催	未定	スタッフの参加経費

#### 6 他団体との連携及び協力事業（自主事業）

- (1) 障がい者団体（身体・知的・精神）支援事業
- (2) 各市町村体育協会（水泳、運動教室、サッカー、ラグビー、ポッチャ、卓球バレー等）
- (3) 岩手県精神障害者社会福祉事業協会（岩手県精神障がい者バレーボール大会）
- (4) 総合型地域スポーツクラブ連携事業
- (5) 各市町村スポーツ推進委員連携事業
- (6) 岩手リハビリテーション学院への講師派遣（日程未定）  
→同校、理学療法学科において障がい者スポーツに関する講義を 15 時間実施予定。
- (7) 各種スポーツ教室及び研修会への講師・指導者派遣
- (8) 日本障がい者スポーツ協会関連事業（東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会）  
コロナ禍の影響でリモート開催となったため、再度岩手県会場とすることとなった。
  - 1) 開催日程・会場：令和3年11月で調整中。会場は県民情報交流センター「アイーナ」
  - 2) 参加対象：各県・指定都市障がい者スポーツ協会、同指導者協議会、行政担当課
  - 3) 協議内容：各県における障がい者スポーツ振興の現状・課題に対する取組み等を共有する。

#### 7 障がい者スポーツ団体の事務局運営（自主事業）

- (1) 岩手県障がい者スポーツ指導者協議会
  - ①指導者派遣事業
  - ②フォローアップ研修会
  - ③サントリー・チャレンジド・アスリート奨励金活用事業（残額：約 80 万円）
    - 1) 視覚障がい者を対象としたロッククライミング教室
    - 2) 障がい児を対象とした運動教室
    - 3) 総合型地域スポーツクラブとの連携推進事業及び資格取得促進事業
    - 4) 被災地におけるスポーツ交流事業  
→釜石鵜住居復興スタジアム（釜石市）、夢アリーナたかた（陸前高田市）を活用予定。

## (2) 岩手県卓球バレー協会

### ①指導者養成及び派遣事業

### ②各種大会審判・スタッフ派遣事業（運営主管予定大会／令和2年3月1日現在）

大会名	期日	会場
希望郷いわてオープン 2021・卓球バレー交流大会	4/25（日）	ふれあいランド岩手
第3回あまちゃんカップ・卓球バレー久慈交流大会 2021	10/31（日）	久慈市総合福祉センター
岩手県卓球バレー交流大会 2021	10/18（日）	ふれあいランド岩手
第2回さんてつカップ・卓球バレー宮古交流大会 2021	11/3（火祝）	宮古市民総合体育館
パラリーナ杯・卓球バレー交流大会	11/7（日）	パラリーナ
第2回大船渡さんまカップ	未定	大船渡市民体育館
卓球バレー東ブロックエリア大会	未定	未定（沿岸地区）

## 8 障がい者スポーツに関する理解啓発及び情報発信

(1) ホームページを活用し、広く情報発信を行う。

(2) 会報の発行（3回）

## 9 会員募集と自主財源の確保

(1) 会員募集について

様々なイベントを通じた協賛募集や会員勧誘活動、PR 宣伝品の作成・活用、企業の CSR 担当部署との連携を図りながら、会員の拡大と自主財源の確保に努める。

(2) 収益事業の実施

令和2年度より開始した「応援シャツ販売」の収益事業を継続して実施する。

※新デザイン（別紙参照）

## 10 諸会議の開催

協会運営を円滑に執行するために以下の所会議を開催する。

(1) 理事会の開催

第1回：6月14日（月）／監査会：6月10日（金）

第2回：11月中旬

第3回：3月中旬

(2) 総会

開催期日：6月29日（火）

(3) 指導者情報交換会

障がい者スポーツに関わる指導者間の情報交換会を開催（3月）

### 令和3年度収支予算書（前年対比表）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

（正味財産増減計算ベース）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	900,000	750,000	150,000
1 正会員	200,000	150,000	50,000
2 賛助会員	700,000	600,000	100,000
3 特別会員			0
② 事業収益	49,000,000	52,400,000	△ 3,400,000
1 受託事業収益	46,500,000	50,000,000	△ 3,500,000
2 物品販売収益	2,500,000	2,400,000	100,000
③ 受取補助金等	4,000,000	2,500,000	1,500,000
1 補助金収益	4,000,000	2,500,000	1,500,000
④ 受取寄附金	300,000	500,000	△ 200,000
1 受取寄附金	300,000	500,000	△ 200,000
⑤ 雑収益	50,050	200,050	△ 150,000
1 受取利息	50	50	0
2 雑収益	50,000	200,000	△ 150,000
経常収益計	54,250,050	56,350,050	△ 2,100,000
(2) 経常費用			
① 事業費	52,655,000	52,500,000	155,000
1 広告宣伝費	158,000	150,000	8,000
2 給料手当	8,200,000	8,000,000	200,000
3 賞与	1,700,000	1,700,000	0
4 退職給付費用	500,000	500,000	0
5 臨時雇賃金	0	0	0
6 法定福利費	1,500,000	1,500,000	0
7 賃借料	1,500,000	1,580,000	△ 80,000
8 消耗品費	2,400,000	2,525,000	△ 125,000
9 光熱水費	155,000	150,000	5,000
10 旅費交通費	2,400,000	2,500,000	△ 100,000
11 支払手数料	67,000	90,000	△ 23,000
12 保険料	495,000	495,000	0
13 通信運搬費	850,000	900,000	△ 50,000
14 諸会費	10,000	10,000	0
15 印刷製本費	1,450,000	1,500,000	△ 50,000
16 諸謝金	2,500,000	2,500,000	0
17 選手派遣旅費	16,000,000	18,250,000	△ 2,250,000
18 食糧費	2,500,000	2,500,000	0
19 車輛費	200,000	100,000	100,000
20 雑費	350,000	350,000	0
21 委託費	700,000	700,000	0
22 会場使用料	2,000,000	2,000,000	0
23 被服費	1,000,000	1,000,000	0
24 支払補助金	2,500,000	2,500,000	0
25 租税公課	1,500,000	1,000,000	500,000
26 期首商品棚卸高	50,000		50,000
27 当期商品仕入高	2,000,000		2,000,000
28 期末商品棚卸高	△ 30,000		△ 30,000

（単位：円）  
H30年6月に総会に提  
した予算を組み替えて  
こちらに入れて下さい。

② 管理費	1,091,000	2,901,000	△ 1,810,000
1 広告宣伝費	30,000	17,000	13,000
2 退職給付費用	0	0	0
3 福利厚生費	22,000	22,000	0
4 賃借料	30,000	30,000	0
5 消耗什器備品費	0	0	0
6 消耗品費	45,000	48,000	△ 3,000
7 光熱水費	10,000	10,000	0
8 旅費交通費	115,000	120,000	△ 5,000
9 支払手数料	25,000	15,000	10,000
10 租税公課	50,000	50,000	0
11 保険料	10,000	5,000	5,000
12 通信運搬費	100,000	80,000	20,000
13 諸会費	74,000	74,000	0
14 印刷製本費	80,000	80,000	0
15 諸謝金	30,000	30,000	0
16 食糧費	20,000	20,000	0
17 車輛費	200,000	200,000	0
18 被服費	0	1,850,000	△ 1,850,000
19 会場使用料	0	0	0
20 雑費	250,000	250,000	0
経常費用計	53,746,000	55,401,000	△ 1,655,000
当期経常増減額	504,050	949,050	△ 445,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計			
(2) 経常外費用	0	0	0
過年度修正損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	504,050	949,050	△ 445,000
法人税、住民税及び事業税	132,000	132,000	0
当期一般正味財産増減額	372,050	817,050	△ 445,000